

特集

JR仙石線、一部再開 あおば通—小鶴新田間



JR仙石線はあおば通—小鶴新田間で運転を再開した＝28日午前8時すぎ、仙台駅



東日本大震災の発生から18日目の28日、運転を見合わせていたJR仙石線あおば通—小鶴新田間(5.6キロ)が午前5時すぎ、運転を始めた。宮城県内の在来線としては震災後初めての再開。立ち入り禁止だったJR仙台駅も部分的に利用できるようになり、仙台圏の日常生活を支える主要な交通インフラがまた一つ動きだした。

午前5時9分、上り始発が小鶴新田を出発した。通勤時間帯の午前7時から8時台に上下線で各4～7本が運行され、通勤客らが利用した。石巻市で震度5弱を記録した同7時24分の地震によるダイヤへの大きな影響はなかった。JR東日本は当面、再開区間の運行本数を通常の6割程度とする。

仙石線の一部再開に合わせて、仙台駅構内の店舗も部分的に営業を再開した。崩落した壁の補修などが続くため、構内の利用は制限されている。

仙台市内などでは、避難所で暮らす被災者を受け入れる

仮設住宅の建設も始まった。

名取市では市内の小中学校16校のうち、被災した閑上小、閑上中、避難所となっている下増田小、館腰小を除く12校で授業が再開された。

警察庁の28日午前10時現在のまとめによると、震災の死者は1万872人、家族が警察に届けた行方不明者は1万6244人で計2万7116人に上った。被害が大きい東北3県の死者は宮城6627人、岩手3213人、福島974人。

2011年03月28日月曜日

Copyright © The Kahoku Shimpo